

つくば市議会提言書
令和7年9月30日 予算決算委員会

事業名	アフタースクールモデル事業
事業概要	小学校の放課後において、保護者の就労状況等にかかわらず、希望するすべての児童に「安全・安心な居場所」と「多様な体験・活動の機会」を提供するため、モデル学区を設定し、令和6年度開設準備、令和7年度運営を業務委託する。
提言内容	
<p>1 地域における世代間交流の促進について</p> <p>本事業において、地域人材による体験プログラムなどを通じて、当該地域で多世代の交流が促進されることは有意義であると考えます。地域の住民に協力してもらいやすくするため、さらなる周知に努めていただきたい。</p> <p>2 環境整備について</p> <p>本事業において、体育館を活用してスポーツ等の活動を行うニーズが高い。近年の夏の暑さを鑑みると、児童の安全を確保するため、体育館へのエアコンの早期設置が課題である。現在アフタースクールモデル事業を実施している沼崎小学校のほか、今後アフタースクールが導入される学校についても、関係部署と連携を図り、環境整備に努めていただきたい。</p> <p>3 占有教室の確保について</p> <p>本事業において、児童がより過ごしやすい環境を整備するため、占有できる教室の確保が重要である。必要に応じて占有できる教室を十分に確保できるよう、関係部署と連携していただきたい。</p>	

予算決算委員会福祉保健分科会

提言に対する対応

- 1 地域における世代間交流の促進について、交流センターにおいてアフタースクールのプログラム内容に適した活動を実施している団体へのチラシ配布と声掛けによる協力依頼を実施するとともに、児童の保護者及び祖父母へのプログラム協力の呼びかけを実施することとした。（こども部こども育成課）
- 2 環境整備について、体育館へのエアコンの早期設置が課題とされた中で、教育局と連携し、モデル事業実施校の沼崎小学校においては、令和8年度中に、そのほかの市内小学校においては、令和9年度中に体育館へエアコンを設置していくこととした。（こども部こども育成課）
- 3 占有教室の確保について、モデル事業である沼崎小学校アフタースクールにおいては、児童が活動するための十分な教室を確保している。引き続き、令和8年4月開設予定のさくら小学校アフタースクールや今後開設するアフタースクールにおいても十分な教室を確保できるよう教育局及び各学校と協議を行うこととした。（こども部こども育成課）

提言に対する対応についての分科会所感・確認事項

地域における世代間交流の促進については、引き続き地域の方々への協力の呼びかけを行っていただき、子どもたちに多様な体験の機会を提供できるよう進めていただきたい。

環境整備については、体育館への迅速なエアコン設備の導入を評価したい。

占有教室の確保についても、新たに事業を開始するさくら小学校において十分確保されていることを確認した。

今後は、本事業のニーズが高いことに鑑み、積極的に他校へも展開されていくことを期待する。

（福祉保健分科会）